

足立区立郷土博物館

「仲町の家」
出張展示

千住の琳派絵師 村越向栄の掛軸、

千住の琳派絵師 村越向栄の掛軸、

2021年

4/24(土) - 4/25(日)

10:00~17:00

会場：仲町の家（足立区千住仲町29-1）

足立区立郷土博物館

「仲町の家」出張展示

千住宿の基盤を作った開発人のひとり、石出掃部介吉胤を祖先に持つ石出家。その石出家の別邸として、子孫が守ってきた建物が「仲町の家」として現在も受け継がれています。

江戸・明治の千住には、絵師や書家などの文人がよく訪れ、町の人々との交流を楽しんでいました。そしてその中から、千住に暮らして活動する人物も現れてきます。千住の琳派絵師、村越向栄もそのひとりです。向栄は、同じく琳派絵師だった父の村越其栄から絵を習い、父子二代にわたり千住を活動の拠点としていました。

其栄・向栄の家は、石出家の屋敷のすぐ近くにありました。石出家をはじめとする千住の家々は村越父子と親しく付き合い、その足跡とも言える作品の数々が、今日に伝えられてきました。

この出張展示では、石出家が所蔵していた村越向栄の作品《秋草図》を、再び石出家の建物へと飾る里帰り展示となります。向栄の作品が石出家の床の間を飾っていたかつての姿に思いをめぐらせ、作品をご鑑賞いただき、千住の豊かな文化をご体感ください。



村越向栄《秋草図》 石出家旧蔵（当館蔵）



村越向栄《秋草図》

石出家旧蔵（足立区立郷土博物館蔵）

尾形光琳ら琳派の絵師が得意とした「秋草」の図で、萩、ススキ、葛、藤袴、女郎花、撫子と、秋の季語である朝顔が細やかに描きこまれています。墨や絵の具のにじみを活かす「たらしこみ」の技法も駆使された、琳派絵師の向栄らしい一作です。

秋に床の間を飾る掛物として、石出家と向栄の親しい付き合いの中で依頼されたものでしょう。その後、平成22年に石出家から郷土博物館へと寄贈されました。

展示会期 ▶ 2021年4月24日(土)・25日(日)

10:00~17:00

会場 ▶ 「仲町の家」足立区千住仲町29-1 北千住駅西口より徒歩約10分

入場料 ▶ 無料

混雑時は入場までお待ちいただく場合がございます。マスクの着用や手指消毒など、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いいたします。